

令和6年度家畜共同育成場労働安全祈願祭・畜魂慰霊祭を執り行いました。

家畜共同育成場の業務は、重機運転や家畜の取扱いなど危険を伴うものであり、過去には死亡事故など重大な労働災害が2件発生しています。また、受託牛が疾病等により毎年数頭死亡しています。

そこで、職員の安全意識の向上・醸成等を目的として、令和6年6月7日(金)、西伊豆町法雲寺本堂において労働安全祈願祭・畜魂慰霊祭を、同日、労働災害現場に隣接する西天城高原展望台にて献花式を執り行いました。

当日は、静岡県関係者も来賓としてご参加をいただき、家畜共同育成場の安全な運営・管理に向けたご指導をいただきました。



法雲寺山門



労働安全祈願・畜魂慰霊の法要



牧場大多和主任が職員を代表して、安全は全てに優先することを胸に刻み取り組んで行くことを誓う。また、県畜産振興課土屋防疫対策室長様から、毎年、全国的に畜産現場で労働災害が起きていることから、家畜共同育成場においても職員一人一人が安全意識を持ち作業にあたるようお言葉をいただきました。



西天城高原展望台にて献花式

県畜産技術研究所吉田所長様から、運転練度を高め事故防止に万全を尽くすようお言葉をいただきました。